

高等教育活性化シリーズ 405 (通算 737 回)

2019 年 12 月 24 日 (火)

公表の法令・努力義務化と社会評価の深化

大学発信情報のコンテンツと戦略的公開Ⅱ

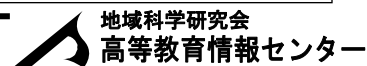
～ 教育・研究／事業・経営／HP 進化／国内外発信ポータルサイト／IR 活用 ～

- ※ 教育情報公表の政策展開／説明責任の進化／米国大学情報公開の現状／教学マネジメント指針の審議と今後
- ※ 私学法改正による義務化／事業・経営情報開示の深化 (進化) / これからの事業報告書の役割と作成の要点
- ※ [大学ポータル] コンテンツ ～ 国公立と私立／機能拡充・利便性向上への取組み／活用支援
- ※ [高等教育資格承認情報] 東京規約に基づく N I C の 2019 年 9 月設立／留学生・教員の流動支援
- ※ 情報公開こそ最大・最強の文装／Web サイトの編集力とインパクト／大学情報と法人情報

● 講師陣 ●

- 小林 雅之 氏 / 桜美林大学 総合研究機構 教授
文科省 中央教育審議会 大学分科会 臨時委員 教学マネジメント特別委員会 副座長
大学ポータルステークホルダー・ボード 主査
- 西野 芳夫 氏 / 関東学院大学 名誉教授 私学経営のあり方研究会 主宰
- 三田 洋介 氏 / (独) 大学改革支援・学位授与機構 評価事業部 評価企画課長
大学ポータルセンター 事務室長
- 野田 文香 氏 / (独) 大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 准教授
- 青野 友太郎 / 高等教育計画経営研究所 常任同人 研究主幹 K K J 代表

2019 年 12 月 24 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



日時: 2019 年 12 月 24 日 (火) 10:00 ~ 16:00
会場: 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27

アクセス: 東京メトロ有楽町線 「麹町駅」1 番出口より
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
麹町口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

- 参加費: A. ご一名 (資料代込) 44,000 円 (税込)
B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 45,000 円 (送料、税込)
C. 高等教育同人 (☆) 25,000 円 (税込)

- ※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
- ※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
- ※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
- ☆ 高等教育計画経営研究所同人は K K J の HP でご確認願います。

- 申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。
- 支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660
口座名 < (株) 地域科学研究会 >
※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区平河町 2-3-10 ライオンズ平河町 101
Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0093
E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 405

大学発信情報のコンテンツと戦略的公開Ⅱ

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____

(□に✓印を) 当日参加 メディア参加

支払方法 郵便振替 当日払い 銀行振込

必要書類 請求書 見積書 領収書

(請求書等記載の宛名) _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 11:30	<p>□ 教育情報の公表と説明責任の進化 ～ 中央教育審議会の政策をめぐって ～</p> <p style="text-align: right;">桜美林大学 小林 雅之</p> <p>1. 教育情報公表政策の展開 (1) なぜ大学情報の公開が必要か (2) 高等教育政策の転換 ―市場化政策と事後チェックへ (3) 中教審のこれまでの審議 (4) 大学評価・情報の公表と大学ポートレートの現状</p> <p>2. アメリカにおける大学情報公開の現状 (1) アメリカにおける大学情報の公開 ～ カレッジスコアカード CDS (2) 全国学生調査 ～ NSSE, CIRP (3) データコンソーシアム</p> <p>3. 現在の政策動向と今後の展望 (1) グランドデザイン答申の核心 ～ 学修者主体の大学教育への転換 (2) 教学マネジメント特別委員会の審議 (3) 全国学生調査について (4) IR の重要性 (5) 今後の展望</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:40 ～ 13:00	<p>□ 事業・経営情報の公表の要点と説明責任の深化(あるいは進化) ～ これからの情報開示、私立学校法改正を読み解く ～</p> <p style="text-align: right;">関東学院大学 西野 芳夫</p> <p>1. 一連の私立学校法改正の意義は何か ～ ガバナンス改革等の目的を考える (1) 平成16年私立学校法改正の趣旨 (2) 令和元年私立学校法改正の趣旨 (3) ガバナンスの強化、中期的な計画の策定、情報公開の充実の目的 ～私立学校法24条の新設、学校法人の管理運営から経営へ</p> <p>2. 情報開示の深化(あるいは進化) ～ 説明責任から、コミュニケーション、さらに支持者層の構築へ (1) 説明責任の3つの根拠 ～ これまでの説明責任 (2) 説明責任の深化あるいは進化 ～ これからの説明責任</p> <p>3. 事業・経営情報公表の要点 ～ 事業報告書の役割の変化 (1) 事業・経営情報とは何か (2) 事業報告書の役割の変化 (3) 事業報告書作成の要点 ～ 事業報告書作成のための基本方針策定の重要性</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 ～ 14:20	<p>□ 大学ポートレートのコンテンツと活用</p> <p style="text-align: right;">(独) 大学改革支援・学位授与機構 三田 洋介</p> <p>1. 大学ポートレートの概況 (1) 目的と役割 (2) 運営体制 ～ 運営会議とステークホルダー・ボード</p> <p>2. 情報提供の機能拡充・改修の取組み (1) 公表項目・検索項目の追加 (2) 国際発信 (3) 利便性の向上 ～ 一覧機能・モバイル拡充・デザインの改善</p> <p>3. 情報活用 (1) 認証評価における活用 (2) 大学間での活用 (3) 情報活用への支援</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:30 ～ 15:20	<p>□ 高等教育資格承認情報のコンテンツと国際交流の進化 ～ “東京規約”の発効/国内情報センター(NIC)の設立～</p> <p style="text-align: right;">(独) 大学改革支援・学位授与機構 野田 文香</p> <p>1. 国内情報センター(NIC)設立の背景 (1) グローバル化と国際流動性の高まり (2) 国際的勧告:ユネスコ地域規約 (3) 日本の大学が期待する第三者情報サービス (4) 外国NICが日本に求める情報</p> <p>2. 日本におけるNICの設立(2019) (1) 高等教育資格承認情報センター (2) NICネットワーク</p> <p>3. Qualificationsの質保証をどうするか:これからの課題 (1) Qualificationsをめぐる議論 (2) Qualificationsに関わる共通枠組み (3) 日本における今後の論点</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 ～ 16:00	<p>□ 戦略的情報公開の学内インパクトと社会評価 ～ Webサイトのトップページとリンク構成の工夫～</p> <p style="text-align: right;">高等教育計画経営研究所 青野 友太郎</p> <p>1. Webサイトの検証と深化 ～メディアとしての不易と流行</p> <p>2. Webサイトの編集長の役割と使命 ～「教育・研究」と「事業・経営」情報の見せ方</p> <p>3. 情報公開こそ最大・最強の文装 ～ 教職員・理事・学生、高校生、保護者、社会へのインパクト</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>